

鹿児島県水産技術開発センター  
創立10周年 研究成果発表会  
開 催 要 領

1 日 時：平成26年2月12日（水） 13：30～16：00  
〔ポスター発表 13：00～13：30〕

2 場 所：かごしま県民交流センター 大ホール  
（住所：鹿児島市山下町14-50 電話：099-221-6600）

3 プログラム

1) ポスター発表（13：00～13：30）

これまでの研究成果等について、ポスターを展示し、13時から13時30分までの間、担当研究員が質問等に対応します。  
また、口頭発表終了後もしばらくの間は展示しています。  
発表の内容については、別紙をご覧ください。

2) 口頭発表（13：30～16：00）

発 表 課 題	発 表 者
マグロ資源調査	資源管理部 主任研究員 堀江 昌弘
鹿児島県における赤潮の発生と赤潮対策の取組	漁場環境部 研究専門員 西 広海
未利用資源有効利用の取組 （血合肉を利用したさつま揚げの開発）	水産食品部 研究専門員 保 聖子
カンパチ人工種苗生産技術の開発と今後の課題 （かごしま生まれ、かごしま育ちカンパチの歩み）	企画・裁培養殖部 主任研究員 今吉 雄二

ポスター発表の内容

部	ポスターの内容
資源管理部	ビンナガ漁場予測に向けたHS Iモデルの開発
	クロマグロ仔魚分布調査
	熱帯性マグロ類有効活用調査
	鹿児島湾のマダイの資源量
	マチ類広域資源管理に関する研究
	鹿児島県海域におけるブリ類の漁獲量変動
	モジャコと流れ藻の来遊予測を目指して
	鹿児島県周辺海域水温の長期変動
	鹿児島県漁業調査船の歴史
	漁業調査船「くろしお」の紹介
	漁海況週報の紹介
	※ 展示品：ROV（水中テレビロボット）
漁場環境部	赤潮被害軽減へ向けた取組
	鹿児島県の主な有害赤潮プランクトン
	赤潮のモニタリング体制
	赤潮の発生を予測する（統計学的手法を用いた赤潮発生に 関与する要因抽出と予察の可能性）
	赤潮被害を軽減する（防除剤開発試験）
	2012年春季に鹿児島県周辺海域で広域に出現した粘質 状浮遊物とその分布特性
	藻場造成（回復）技術の現状と課題
	奄美大島における藻場造成試験の成果と課題
	ヒジキ人工種苗生産技術開発の現状
	天降川におけるアユの生態
ウナギ資源保護対策研究	
水産食品部	水産加工品開発研究及び製品紹介
	生食用高品質冷凍サバに関する研究
	カンパチ中落ち利用試験
	加工食品におけるヒスタミン対策研究
	現場でできる簡易魚病診断法
	水産用ワクチンの普及効果
	PCRによる魚病診断
	無魚粉EP飼料開発試験
企画・ 栽培養殖部	スジアラ種苗生産の技術開発研究
	ヤイトハタ、オオモンハタ種苗生産の技術開発研究
	サバヒー種苗生産の技術開発研究
	モクスガ二種苗生産の技術開発研究
	ヤコウガイ種苗生産の技術開発研究
	シラヒゲウ二種苗生産の技術開発研究
	赤潮プランクトン大量培養試験
	赤潮対応型給餌モデル開発試験